

## Dedicated to Man's Fight against Disease and Pain

### 病気と苦痛に対する人間の闘いのために

当社は、この企業理念のもと、いまだ満たされない医療ニーズに応えるため、真に患者さんのためになる革新的な新薬の創製を目指し、挑戦を続けています。

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援、ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第67期第2四半期累計期間(2014年4月1日から2014年9月30日まで)につきましては、講演研究会や説明会など、引き続き積極的な情報提供活動を進めてまいりましたが、薬価改定や後発医薬品使用促進策の浸透による影響を受けたことに加え、主要新製品の一部において競合品との競争の激化から販売計画の進捗に遅れが生じたことにより、減収となりました。また、新製品の営業活動費用や市販後調査費用による販売費及び一般管理費の増加などにより、減益となりました。

国内の医薬品市場においては、新薬創製成功率の低下や研究開発費の増大に加え、医療費抑制政策の強化が進むなど、厳しい環境が続いています。

このような事業環境のなか、当社は、新薬開発型医薬品企業として永続的な発展を実現するために、開発パイプラインの拡充、海外展開の推進に取り組むとともに、企業基盤の強化に努めています。



### 三つの経営課題

開発パイプラインの拡充	持続的成長のためには、開発パイプラインを拡充し、継続的に新薬を市場に送り出すことが不可欠です。独自の創薬手法と世界最先端の技術の活用によりスピーディーな自社創薬を進めるとともに、新薬候補化合物を導入するライセンス活動にも注力し、継続的な新薬上市に繋がる開発パイプラインの拡充に努めます。また、臨床試験では有効性と安全性を早期に確認し、新薬開発のスピードアップにも努めます。
海外展開の推進	自社創製の新薬を世界中にお届けできるよう、海外での臨床開発を推進するとともに、海外提携企業への導出を通じ、自社創製化合物の早期の上市を目指してグローバルな事業展開を進めます。抗がん剤などスペシャリティ製品については自社販売を見据え、海外現地拠点の強化に取り組みます。
企業基盤の強化	グローバルレベルでの競争力向上のため、人材の育成と活性化に努めます。また、多様性の向上や社内外の連携強化により、さまざまな環境変化への対応とイノベーションの実現を図ります。さらに、企業理念と行動規範に基づいたCSR活動の一層の充実に取り組みます。

わたしたちは、病気で苦しんでいる世界中の患者さんに、医療現場のニーズに沿った新薬を一日も早くお届けするために、社員一丸となって挑戦を続けていきます。株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



1968年(昭和43年)に中央研究所(現在の水無瀬研究所)の建設を記念して建立された石碑。小野薬品の企業理念がここに刻まれています。

代表取締役社長 相良 暁